

五月十四日。天氣晴。初夏がようやく会中の方々にた隠れ気にして、舌に舌の会中の方々へ、エスペー一會のAさんと私の会中の方々へ、新宿駅に七時半に集合。逃が苦からで名高いAさん、田中からビニレスガーリーをつたから、『時間的観念』も少しは西つた

と題にあがくやせり、三十介の達刻。又、
しのオツナヨコナヨイ氣味の如き、ソれ又大
千円札を朝つぱがり、何處かに落したて
、ホケタソラどこの裏返しても見付けば
皆に頬、今日はソライナセニギリ思ひぢね
浦賀経由船山に出現す。

一さんへとじてく先日、十世傳の見ず知らず
の男性ばかり、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z、
Hにが、一さんで御意見を伺いたいとの連
絡あつた。されば、運転車の中ではモロモロ
是非やうやう鑑定等の興味ある問題が詰題にな
る。又、本歌人の心事、石川啄木の歌集を持
ておが、孤独の歌人咏本にすつかりほほ

そこで、このよりつゝ、略木に続かんと将軍を期して、船頭強いて由田、期待しきしよ。されど、途中瀬戸源から御運船抵誤り、海風空氣に吹拂して、嘔瀉酒漁港に着く。かうり強て船頭が吹けていたら、油直しけで、口に鹽に塗ること思つてこなが、実際には東京湾に歸つたのである。ノハ、浦賀港は無煙だつちへ口に卡ツッカセが済んだが、漁船も數さき見え、にぎやかで、ここに泊つてゐる。一の浦賀港から金谷港まで東京湾を東西に横口つて四十ヶ所、汐風の巴じと渠もぢが、行商人、外国漁船の大型船など、

新住町
名古屋市瑞穂区軍水町一の二十二
新住町
昭和区騎西町二の三第六
三橋庄内
松枝淳子
尚、お便りによれば、商夫君は白兎^{シロウサギ}と申す。
即ち不自由に生れ、商夫君は白兎^{シロウサギ}と申す。
貴助令嬢の御亭子様が、去る四月三日に
ます。新しに脚住所、御正着は次申頼ります。

左の金額の方々が、友人を求めて居られま
すので、「もししくお願ひ致します」
横田弘明

太田 稔見
東京都港区青山南町二丁目三
昭和十七年生れ 手足はまだまはん。
詰ば普通程度。
取扱いよろしく。

(四) 郵便料金に因する書類若清麗を早急に提出すること。
(五) 国立障害更生指導所の田中・和田先生方に
二三にちおつ上るが、手札と併行して、懇親マ
ルための講演をして貰く事。而先生方に有
難い事。(六) 田中よりハリエト・ジョンの参加者が大
きに出来下りた。

以
上

房総の山をなす、その中でひときわ高いのは鋸山だ。鋸山はさうして、注目され、横浜港に向う、あらう、今圆の貨物船に手をかつたりのはやきよう。
あつとこう向う船旅を終え、無事金谷港着。自指す鋸山は眼前にそり立つて、海坂三五〇メートル又前で、頂上は鋸の歯のように、ギザギザである。こんな狭しそうな山に足が不自由な者に登れるだろうか。そんな不安が四人の頭上をかすめる。しかし、丁度、君は元気一杯。靴刀切りと神め言して、差し始めると、こゝが通じて下山道の方から、音が聞こへる。たゞ、音段又階段の足の音だ。十さんこれには、山口、完全にクロッキー。金中に坐り込んでしまう仕事、沂と遙かに遙かに遙かに遙かだ。ほんの少し、南京湾に浮かぶ船の波の痕跡、箱庭のような舟釣、トンネルに見え隠れする汽車、田畠の間に升る煙、蒸し氣。更に遙かに、一一般と美しいに達ぢゆうと思つたのか、ふさんもやつと腰をあける。でも現体の疲れがまんで、さす、到頭、困つてはりて登りはじめ、かる、これらら日本を身体を支えるのだかに、渠に運びだした。余りにも恰好ではない。そんな苦勞の末、やつと頂上にたどり着く。山頂上で餌をシューへる味は格別である。当然、山頂へて、山をどうぞおかけやすむよ。おまけに、山頂へて、山をどうぞおかけやすむよ。

兒強金開始

一回目は経済。二回目は天皇の問題。
戦後日本は國の象徴として「から・エスペー
ロリ・エラ・上さんの二回目の講義は始まつた
暮つたのは毒に死のロリ五日続いの十人。例
によつて、講師に寧向するナリ。司令までア
レスカツハヨンに移行してゆく。ワーディー
の好きな毛色、ひっくりかえしたがるト君
遠く南北朝まで弱つて論じ始める工部、議
論しために議論をして居るようだ。じつに
かすれよ難、あつちへ飛び、此方へ帰り、農
地問題まで出て、大変複雑で且つ右意義が半
日でした。毎回一回乃至三回行う予定であります。尚出席下さい。

編物 約三万皆様方 小沢先生の延命的なる
指導により上達して来ましたので、今までは
自分で糸を編んで居りましたが、今月からは
毎日教室に来まして、どうぞ編みますから
中古品でも結構ですかから出して下さい。
でも日時をかるやう急がめ様にお願い致し
ます。

編物 一オーンス 四十円(メリヤス編)
もよう編 六十四以上

中古品出しあれ 五十四一四四

田代定例説明会
各支部の新旧部長より顕念はも原、若林、後
藤、枝野辰吉、高橋誠として二九日に開けた、
主な議題

郵便料金に廻する豊石清蔵は早急に提出せ
んとする。 (二八日までに配布した書
名用紙の三分の一程度を戻してある。) そつて
國立障害児更生施設町内由

教及び交通省の吳から組合かえた方が良くて
ないかといふことなど本、話し合われた。
尚、当田新支那部長会計長を選出す予定で
あつたが、支那部長が出席が少ないので、後田
改めて行こうことにする。

五日定期役員会（二八四）

主な記事

(1)資金獲得のためのバレー公演が延期ゆえに
原定に至った報道、及び、東芝歌謡曲大会
の切符売場開きについて（詳細別報）。東芝
から分けてもらひうる券の回収表示のことが大
いに問題となる。

(2)要のキヤンづは今年も開催する。
の前頭のキヤンづとは別に、教養部で合唱研
修会／＼一つのテーマを足め、それだけ研究討
論し合つて討画。

期日 八回中何三回回
場所 光明音楽学校

おたより

東洋の民族不調

行きたくない

原に芝の会々體の皆さん、私は山正義というものです。

文生指導所で田中・和田両先生と十数回相談をして下さり、東のため更生と医療の相談をして下さいました。して不思議なのは毎週田中

金のために行く

（つづき）四月から城東支部に入り、およほすなかが
ます。そこで今まかに何がなにかと聞かれ
る。私は生れて
り副支部長の役をもつてました。私は生れて
半生仕合時に風邪でもて脳性マヒにかかり
て上下肢痙攣麻痺になり、学校も行けず、こ
れ廿一年間もすこしてました。そのため字
を書くのもしづく字引きたりにかけてい
ます。こんな状態ですりで、うそく副支部長
という仕事を出でるかねからませんが、出来
るだけやつてゆこうと思つて居ります。その

ですので整理が都合上、相談をなさりたい方は余の事務所の方へお申込み下さい。こちらで順番に相談日と指定期をしますから、尚、外出困難な方の方へは、先生の方から出向いて下さるそうです。それから、お申込みの際に大体どうような事を相談したいか三つて下さると好都合です。

孤独の世界に飛び込むか、か
らでも行く

せんでした。会報社等に医療と更生の相談に
「して、こういう記事がやつてありますな。
それについて、私が考え方をやりたいと思ひます。
医療と更生、事業の相談を国立労働監査センタ
ーを行うとの事、これは良い事ですが、もう
一つ私が思つて居る事は、青い芝の中で動け
る金員貯金呉査收を行ひ、その收入で商店
を建ててそれを売上ひを分配し、生活費にあてる
そり添ね重もまいりで下さいいか。動けない人
達にも皆と同じに介けて上げ、(P)全員樂しくく
らせる様にしたいたと思ひます。青い芝の会の
設立が皆さん、どう様なお考えですか、御意
見を下さい。それででは公賣の皆様が御健康と

料金に関する署名運動で、五月末四〇日に「十八右の署名が集まりましたが、まだ大分帰って来ない署名用紙があります。署名用紙をまとめて返送してない方は、出来るだけ多くお書きになって返送して下さい。

なお、「しのゆめ」と「友愛会」が今け
オ一弾として国会へ既に提出しましたが、十一
会と「心の灯」の令子や二弾として近く郵
便へ提出する予定です。

いのまにか、今年も梅雨の隙となりました。
が、皆さんはお元気で、一步へ社会に向
つて、頑張つておられることを、お忙び申し
ります。
特集として、鶴原先生に書いて頂きました
し、相親の事をおはせました。
こうへ計画を立て、やつてじせたじと
つでしますが、なんへやれなし事を、お
めでちます。
都合によつて、今日発行しましたが、七月
五号、次回の発稿は八月十五日(火)に、本部
事務所へお預り致します。

もう一度考えよう。

今回別記の様に、大変不幸なことがおこりました。痔された御家族はもう諦めこと、我々にとっても名状しづらいショックでした。単に、それは親しい友達の死ということ以外「青い芝」という組織のさけられて基本的な只脇にふれられた様な感じだったかも知れませ

と曰ふ。どんぢ理由によつて、もとにせよ、自分自身を抹殺する様な行爲をしてはならぬ」といふことと、どんぢ惣がモ詰レ(空氣)なる様な空氣を創りあればなければ、ならむ」といふことは、けです。

居の電氣向立

せ合せて、この生きにくし社会の荒波を
のり切つて行こう……』

「書に缺く」の日本版には、こう明記してあります。ノルヒントンは、今更の様な事態のおかげで、未だにさせらるむの出来事がついたのを、直接、会の運営に及ぼされる我々の責任として、深く感じています。

今、我々は、自分達の無力さに半ば屈服しきり、激しい怒りをあふれております。」のちに前進のためのエネルギーに転化するに至る、もうすれば良いのが、もう一度考えておじと感します。只、現在はつきり言ふるこ

「十才の子草」傍に下りて、ひりとて山口を見て、
「山口さん、が、昨日死んだつて、」と叫ぶたが、僕は田舎の耳も通つた。
「まあか！」山口君は話を聞くよろしく、
どうやら本当らしい。まさかこんな事を冗談なんかでは言えないと、すぐ医師宅へ電話
さしたら、これから告別式へ行くところだった。
僕もすぐ宿ヶ原の家に行く事にした。
先に山北会長を始め、福井、星野、西畠君が来て
いた。

角らなくてつてしまつた。くわしいやうに腰けないやうでやりきれなかつた。彼女も何が死に追ひこんだかは皆自解らない。しかし、気のせい彼女がこんな事になつたのは彼女が我々と同じ脳性マニスであったからではないか。我々がこの世の中に生きて行く事がいかに困難な事が解る。靈廟前に立つた会長や他の人々も二度とこんな犠牲の無い様、我々の住まい社会をつくる事を私の前の誓つたことと思う。

青芝会
株式会社
東京大宮六三二〇
中井印刷店

して死んじつたんだよ。五月前に会つた時には、会の事でこれからも一緒に一生恩命やつて行こうね。と話し合つたばかりいやがしかし、今度の日延はみんなで船揚げ泳ぎに行こうと決心した。さうして